第４学年音楽科学習指導超略案

日時　令和２年２月１８日（火）

対象　男３名　女３名　計６名

指導者　前多昌顕

１　単元名

　「日本の音楽に親しもう」

２　本時の目標

リズムや音の組み合わせを工夫して、５音を使ってまとまりのある日本の旋律を作ることができる。（技）

３　展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 教師の働きかけ | 児童の活動 | ◎支援・留意点◆評価基準 |
| 導入  ５分 | １　単元で学習している歌を歌唱させる。  ２　授業の流れを知らせる。  ３　めあてを確認する。  ５つの音で、おはやしのせんりつをつくりましょう。 | 「さよなら友よ」「こきりこ」を歌う。  黒板に書かれた授業の流れを見て，これからの学習の見通しをもつ。  めあてを音読する。 | ・歌詞を教室に掲示しておく。  ・マインドマップに授業の流れを記入し，授業の見通しをもたせる。 |
| 展開  28分 | ４　音符カードを使って２小節のリズムをつくらせる。  ５　embotで旋律をつくらせる。  ６　つくった旋律を五線に書かせる。 | 音符カードを使って２小節のリズムをつくる。  　リズムをプログラムしてから、ミ・ソ・ラ・ド・レの音を当てはめて、気に入った旋律をつくる。  　ワークシートを見ながら、自分がつくった旋律を五線に書き、リコーダーで練習する。 | ◎音符の拍数を理解することが難しい児童のために拍数を記入した音符カードを用意する。  ◆いろいろな音を試しながらまとまりのある旋律をつくっている。（技）  ・iPadの画面を印刷させる。  ・机間指導で五線に書けない児童に個別指導する。 |
| 終末  12分 | ７　つくった旋律をリコーダーで演奏させる。  ８　振り返りをさせる。  ９　embotで自分の旋律と友達が作った旋律をつながせる。  10　次時の予告をする。 | 一人ずつ、自分が演奏しやすい速さで演奏する。  　Flipgridに自分の振り返りと、友達の作品を聞いた感想を投稿する。  　早く終わった児童から、友達の旋律を自分のプログラムに組み込む。 | ◎うまく演奏できない児童は、できるところまで演奏させたあと、embotで発表させる。  ・印刷されたプログラムを見ながら友達の旋律を入力する。 |